

令和6年度 重点目標の成果と課題

重点目標1

1 目標

児童の自己肯定感・自己有用感のさらなる向上を目指す。

2 数値による指標

児童アンケートの「わたしは、自分のことが好きである。」の設問で、肯定的回答の割合を80%以上にする。

3 成果と課題

令和5年度の結果は74%、令和6年度の結果は70%だった。目標達成に及ばなかったが、「自分から進んであいさつをしている」90%や「友達に親切にしている」92%ということに自信をもたせ、令和7年度の教育活動に活かしていく。また、この結果を真摯に受け止め、三宿小学校の特色でもある縦割り班活動を重視しながら学校行事の充実を図り、児童が主体的に活動する場面を増やしていく。

重点目標2

1 目標

児童がすすんであいさつできるようにする。

2 数値による指標

保護者アンケートの「本校の子どもたちは、元気にあいさつしている。」の設問で、肯定的回答の割合を90%以上にする。

3 成果と課題

令和5年度の結果は75%、令和6年度の結果は90%だった。目標達成の要因は、あいさつ運動の取り組みや、年間を通して教職員による児童への丁寧な指導の成果が果として表れたと考える。今後も、自分から進んであいさつができるように、児童への働きかけ取り組みを工夫改善し、この習慣が継続できるように指導の充実を図る。

重点目標3

1 目標

キャリア教育の拡充および家庭への周知を行う。

2 数値による指標

保護者アンケートのキャリア教育に関わる項目について、肯定的回答の割合を80%以上にする。

3 成果と課題

令和5年度の結果は69%、令和6年度の結果は60%だった。今後は、キャリア学習を学び進める中で、児童や保護者が将来のことについて、見通しをもつことができるように指導の充実を図る。また、保護者への浸透を深めるためにも、キャリアパスポートやゲストティーチャーによる授業を充実させ、児童の学習の軌跡を可視化することで、実感をともなった学習に結び付けていく。